

1. 平成 30 年度 実績報告

1 地域支援事業の実施

〔1〕介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）

地域の実情に応じて、住民等の多様な主体が参画し、多様なサービスを充実することにより地域の支え合い体制づくりを推進してきました。

（1）介護予防・生活支援サービス事業

要支援者又は基本チェックリスト該当者に対し多様な生活支援のニーズに対応するため、介護予防訪問介護・通所介護のサービスに加え、住民主体の支援等も含め、多様なサービスを提供。

事業名	事業内容	見込み		実績
訪問型サービス	掃除、洗濯等の日常生活上の支援	従来相当	1,073 人	1,049 人
		サービス A	660 人	658 人
		サービス C	10 人	0 人
通所型サービス	機能訓練や集いの場など日常生活上の支援	従来相当	1,916 人	2,153 人
		サービス A	2,568 人	2,279 人
		サービス B	1,000 人	773 人
その他の生活支援サービス	栄養改善を目的とした配食や一人暮らし高齢者等への見守り	お元気見守り食事サービス(配食)	480 人	469 人
介護予防ケアマネジメント	総合事業によるサービスを適切に提供するためのケアマネジメント		4,740 件	5,235 件

一般介護予防事業

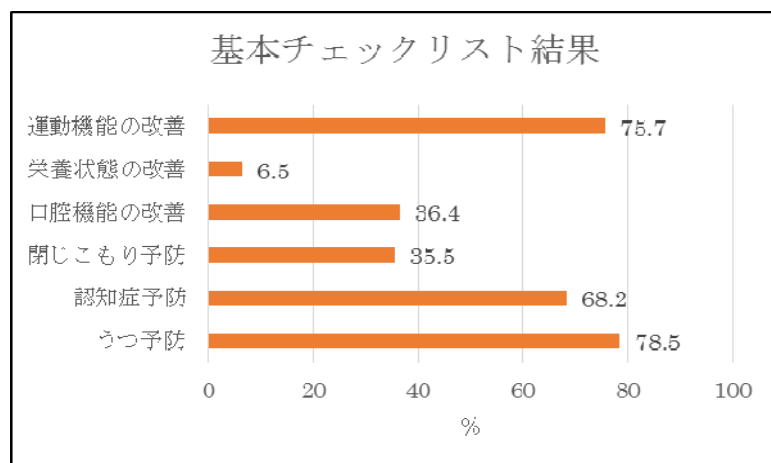
高齢者を年齢や心身の状況等によって分け隔てることなく、住民運営の集いの場を充実させ人と人とのつながりを通じて、参加者や集いの場が継続的に拡大していくような地域作りを目指しました。要介護状態になっても生きがい・役割をもって生活できる地域の実現を目的とし実施しました。

第 7 期高齢者福祉計画・介護保険事業計画より

介護予防教室等参加者数	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
実施目標（人）	18,000	18,000	18,000
実績数値（人）	19,274	—	—

①介護予防事業対象者把握事業

事業名	事業内容	H29 実績数	H30 実績数
チェックリスト 活用把握事業	何らかの支援を要する者の把握方法として、地域の民生委員等と地域活動予防活動支援事業等の支援者からの情報収集を行い、基本チェックリストを実施	101 人	107 人
MCI 対象者 把握事業	認知症の前駆段階とされる軽度認知障害（MCI）のスクリーニングテストを実施。該当率 36.2%	37 人	47 人



○MCI スクリーニングテスト内訳

対象年齢	対象条件	目標 人数	実績			該当者		
			男	女	計	男	女	計
～39	健幸フェスタにて	50	2	2	4	0	0	0
40～59	保健指導対象者		1	1	2	0	0	0
60～74	介護保険未申請者		3	15	18	0	0	0
75～84	介護保険未申請者		4	16	20	4	10	14
85～	介護保険未申請者		2	1	3	2	1	3
合計			12	35	47	6	11	17

該当者への対応	人数
介護予防事業利用	4
認知症予防の教育・指導	5
地域の集いの場参加中	4
シルバー事業就労	0
訪問拒否・未訪問	3
その他	1
合 計	17

②介護予防普及啓発事業

事業名	事業内容	目標	実績
認知症講演会	10/21（土） 講師：当事者山田真由美氏・家族小菅もと子氏 講演「ご本人と家族の声から始まる認知症に優しいまちづくり」	参加者数 500 人	参加者数 250 人
健康教室・健康教育 への講師派遣事業	壮健クラブやサロン活動、地域の高齢者の集いの場を対象として、介護予防講師派遣及び看護師による健康相談・健康教室を実施	参加者延数 4,650 人	参加者延数 3,724 人

回想法事業	回想法基礎研修 6/23（土） 講師：NPO 法人シルバー総研研究所来島修志氏 回想法の手法を学び、介護予防として集いの場 又は介護サービス事業所にて回想法を実践する 為の基礎研修を実施	参加者数 40 人	参加者数 14 人
	回想法普及・活用事業 地域における認知症予防・介護予防の手段とし て、回想法体験や出前講座、カフェを開催	—	参加者数 430 人
脳の健康教室	「読み書き」「計算」などの学習を、教室サポー ターと呼ばれる方々とコミュニケーションを取り ながらの学習療法を 5 ヶ月実施	参加者数 10 人	参加者 8 人 参加者延数 92 人
健康体操・転倒予防 教室	スポーツ施設等に委託し、3 ヶ月から 6 ヶ月を期 間とした短期集中型の体操教室を実施	参加実人数 373 人	参加実人数 279 人 参加者延数 1,984 人
	「健康シニア応援塾」：スポーツクラブアクトス 24 回コース×1 教室	13 人	13 人 延 257 人
	「健康シニア応援塾」：スポーツクラブアクトス (岩村会場)12 回コース×1 教室	30 人	24 人 延 165 人
	「プールウォーキング」：山岡健康増進センター 楽歩 10 回コース×8 教室	200 人	142 人 延 1,136 人
	「筋トレを暮らしの中に」：山岡健康増進センタ ー楽歩 6,7 回コース×6 教室	120 人	90 人 延 320 人
	「水中歩行運動教室」：メディカルフィットネス familiar 12 回コース×1 教室 ＊昨年度の特定健診結果で「動機付け支援」と判 定された方が対象	10 人	10 人 延 106 人

③地域介護予防活動支援事業

事業名	事業内容	目標	実績数
はっらっサポーター養成講座	介護予防の基礎知識を学び、介護予防事業のお手伝いや、自ら地域で介護予防活動を行う方を対象に講座を 2 回開催	受講者数 40 人	受講者数 32 人
はっらっサポーター活動支援	9/26（水）の実践発表会の開催。サポーター同士の研修及び情報交換を行う連絡会を 4 回開催。（参加者 111 名） 集いの場開催数 439 回、サポーター活動延べ人数 1,255 人、参加者延べ 8,998 人	立上げ 件数 10 ヶ所	0 ヶ所

高齢者等ふれあい 温泉施設利用助成 事業	高齢者等の閉じこもり防止を目的に、市内温泉施設の利用 1 回 300 円の助成券 4 枚と団体利用券を発行	—	利用者数 3,988 人
健幸ポイント事業	「エーナ健幸ポイント」事業の基本ポイント事業の対象に、地域支援事業を位置づけ実施（全体の応募者人数の 47%が高齢者）	—	参加者延数 358 人

第 7 期高齢者福祉計画・介護保険事業計画より

はつらつサポーター養成講座	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
実施目標（人）	40	40	40
実績数値（人）	32	—	—

	大井	長島	東野	三郷	武並	笠置	中野方	飯地	岩村	山岡	明智	串原	上矢作	市外	合計
サポーター数（人）	44	22	17	13	11	8	3	2	12	19	41	11	2	6	211
集いの場数（ヶ所）	5	0	1	1	1	1	0	0	0	2	13	6	1	0	31



はつらつサポーター連絡会



水中運動教室

④一般介護予防事業評価事業

事業名	事業内容
プロセス評価 （事業計画立案・実施過程）	各種事業実施に向けての目標を設定し、実施状況と結果を分析し課題があれば改善に繋げる
アウトプット評価 （事業の実施量）	介護予防事業の実施状況（回数・参加率）により評価 (資料：一般介護予防事業評価表)
アウトカム評価（事業成果）	期待していた効果がでているかを確認（健康体操教室における前後評価） (資料：健康体操・転倒予防教室評価グラフ)

⑤地域リハビリテーション活動支援事業

（地域における介護予防の取り組みを機能強化するために、通所・介護・地域ケア会議、サービス担当者会議・住民主体の通いの場等へのリハビリテーション専門職等の関与を促進する）

事業名	事業内容	目標	実績数
はつらつリーダー養成事業	岐阜県理学療法士協会に委託し 12 回の講習で理学療法の知識と技術を習得し、はつらつサポーター活動支援を行うはつらつリーダーを養成	10 人	11 人



はつらつリーダー養成事業

〔２〕 地域包括支援センター事業

地域住民の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援するために、地域包括支援センターの運営事業（総合相談支援業務・権利擁護業務・ケアマネジメント支援）を推進

事業名	事業内容	実績数
総合相談支援業務	地域から収集した情報（民生委員からの情報等）の活用により、閉じこもり等の何らかの支援を要する者を把握し、必用に応じて基本チェックリストを活用し地域介護予防活動支援事業等へ繋ぐ、また各種制度を紹介するなど適切な支援を実施	相談者数 2,803 人
権利擁護業務	高齢者虐待や消費者被害などの相談に対し、介護保険事業所や専門機関と協力し、迅速に高齢者を権利侵害から守ります。又、虐待問題や消費者被害の防止啓発に向けた取組みを実施。	通報 18 件 被虐待者 10 件
包括的・継続的マネジメント支援業務	地域のケアマネジャーへの支援としては、個別ケースの相談に応じるとともに定期的な研修や勉強会を 9 回開催 主任ケアマネジャー連絡会を 3 回、ケアマネ役員会議を 12 回開催	参加者延数 532 人

総合相談支援状況

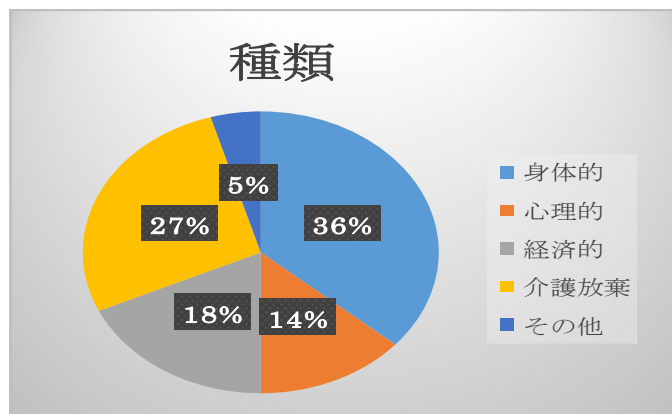
（単位：人）

	H25	H26	H27	H28	H29	H30
総合事業	720	727	1,201	313	179	204
介護保険	1,105	846	1,053	633	431	449
生活支援サービス	753	602	642	367	119	124
実態把握	225	221	207	534	452	631
認知症	143	60	110	370	241	452
障がい	233	354	211	34	28	36
虐待	126	113	111	67	30	175
成年後見	207	196	104	49	28	28
消費者被害	111	121	88	6	17	3
生活困難	29	32	31	225	116	77
介護困難	24	12	18	107	44	63
医療・健康	9	12	9	139	170	185
苦情	178	105	178	12	9	32
孤独死（孤立死）	115	102	60	3	3	3
住宅問題	60	164	13	99	44	91
その他	308	327	441	172	231	250
合計	4,346	3,994	4,477	3,130	2,142	2,803

虐待受付内容別件数

(単位:人)

種類	身体的	心理的	経済的	介護放棄	性的	その他	合計
件数 (件)	8	3	4	6	0	1	22



虐待重症度の判定基準別件数

(単位:人)

基準	最重度	重度	中等度	軽度	その他	合計
件数 (件)	0	1	1	8	0	10

H30年度恵那市ケアマネ連絡会実績								
日にち	曜日	タイトル			内容			参加人数
4月18日	水	介護保険係・地域包括支援センター職員紹介 新年度計画			担当職員紹介、年間計画について			58
5月22日	火	スーパービジョン導入全体研修会			講師 岐阜県居宅介護支援事業協議会 立木孝幸氏 安達智紀氏			72
6月20日	水	認知症関連事業について			包括支援センター 足立哲也			51
7月20日	金	恵那・中津川合同研修会			講師 成澤 正則氏 テーマ ～ケアマネジメント関連平成30年改正点の理解～			46
8月28日	火	スーパービジョン金魚鉢方式①			スーパービジョン実演 講師 岐阜県居宅介護支援事業協議会立木孝幸氏 末松みどり氏			64
10月17日	水	成年後見制度について			講師 成年後見センターより			46
11月27日	火	スーパービジョン金魚鉢方式②			スーパービジョン実演 講師 岐阜県居宅介護支援事業協議会立木孝幸氏 末松みどり氏			59
1月16日	水	ケアマネ接遇研修			講師 恵那市社会福祉協議会 ケアプランセンター			52
3月18日	水	災害机上訓練 (他法人との研修会と兼務)			机上訓練 契約関係について			84
							合計	532

〔3〕 包括的支援事業

在宅医療・介護連携の推進

事業名	事業内容	実績数
在宅医療・介護 連携事業	重度の疾患を抱える高齢者も安心して在宅生活が過ごせるよう医師会関係団体と連携し「在宅医療・介護連携推進準備会議」を開催し、本事業8項目についての取り組みを検討した	開催回数 2回

事業名	取組み内容
①地域の医療・介護の資源の把握	「在宅医療ガイドブック」(H27年度中津川市・恵那地域在宅医療連携推進事業)の更新について検討
②在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	在宅医療・介護連携推進会議を2回開催し関係機関と協議
③切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築	提供体制構築に関する課題などについてのアンケート調査について検討
④医療・介護関係者の情報共有の支援	関係事業所の代表者にてワーキンググループを編成し、情報共有ツール(情報提供書・介護連携ノート等)について検討
⑤医療・介護連携に関する相談支援	在宅医療・介護連携相談窓口を地域包括支援センターと恵那歯科医師会に設置し、地域包括支援センターにコーディネーターを配置。医科相談件数:11件、歯科相談件数:135件
⑥医療・介護関係者の研修	10/14(日)恵那歯科医師会に委託し研修会を実施「糖尿病と歯周病」
⑦地域住民への普及啓発	11/4(日)在宅医療・介護シンポジウムの共催「在宅医療と介護を考える」
⑧在宅医療・介護連携に関する関係市町村の連携	8/9・1/31 在宅医療・介護連携推進研究会(東濃圏域)参加により近隣地域関係機関との定期的な情報交換・情報共有

認知症施策の推進

(資料:介護保険の認定を受けた認知症者の人数)

事業名	目標	事業内容	実績数
若年認知症の人と 家族の支援	随時	若年認知症患者と家族への相談を認知症地域支援推進員が訪問等で継続的な支援を実施	対象者数 3人
認知症カフェ事業 (ささゆりカフェ)	開催回数 8回 参加者数 120人	不安や悩み事の相談、介護情報を得るためのカフェをスターバックスコーヒーの協力により開催。地域に開かれたカフェを目指すため、医療・福祉事業所、民間企業との多職種連携事業として実施。	開催回数 8回 参加者数 206人

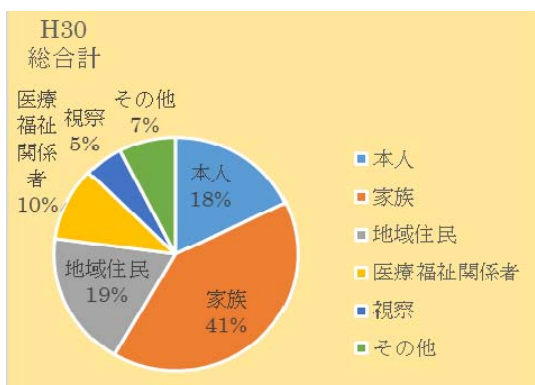
認知症の方の家族のつどい	開催回数 4回 参加者数 40人	認知症の人を介護している家族を支える場としてつどいを開催	開催回数 4回 参加者数 30人
認知症多職種連携事業（事例検討会）	開催回数 6回	ファシリテーターを中心に、様々な視点から事例を読み解き解決方法を検討	開催回数 2回 参加者数 82人
〃 （研修）	開催回数 2回	認知症の人本人と家族を多職種で支援する体制構築と強化を目的に、市内の医療・福祉関係者、民生委員等を対象とした研修会を開催	開催回数 1回 参加者数 36人
認知症初期集中支援チーム	随時	事業開始に向けて具体的支援方法等について、医師を含めたチーム員で検討	支援者 7人
	—	啓発講演会：講師認知症サポート医 鷲津潤爾氏： 2/15（木）場所：中野方コミュニティーセンター	参加者数 31人
認知症ケアパスの活用	随時	認知症の人の状態に合わせた適切なサービスの流れやケア内容を記載した冊子を相談時に提示	—
認知症サポーター活動支援	開催回数 1回	認知症サポーター養成講座の修了者が復習や啓発活動を兼ねて、活動の場として「あんしん声掛け訓練」を1回実施（恵那駅周辺）	参加 18人 声掛け 39件 通報 10件

ささゆりカフェ実施状況

（単位：人）

開催日	曜日	本人	家族	地域住民	医療福祉関係者	視察	その他	合計	会場
4月20日	金	5	16	7		0	0	28	恵那市中央図書館
5月16日	水	10	15	8	4	3	7	47	コープぎふ恵那店
7月17日	火	4	11	10	11	0	2	38	圓頂寺
8月24日	金	8	12	4	2	3	3	32	木ポイント 大ホール
10月19日	金	5	8	6	4		3	26	市立恵那病院
11月20日	火	4	15	2	3	6		30	中央図書館
1月18日	木	3	10	3				16	木ポイント 大ホール
2月19日	火	3	9	4			3	19	夕照の里
		42	96	44	24	12	18	236	

参加者属性割合



認知症の方の家族のつどい実施状況

(単位：人)

開催日	曜日	男性	女性	合計	内本人	内家族	地域	会場
6月27日	水	1	6	7	1	6	岩村	岩村福祉センター
9月27日	木	2	8	10	1	9	長島	市役所会議棟
12月20日	木	1	7	8	1	7	長島	市役所会議棟
3月14日	木	0	5	5	0	5	長島	市民会館
合計		4	26	30	3	27		

開催日	内容	講師	所属
6月27日	ヨガ体験	横光亜由美	ヨガインストラクター
9月27日	ケアパスの勉強会	包括支援センター	地域包括支援センター
12月20日	クリスマスツリーづくり	とわホール	恵那葬儀
3月14日	本人による講演会	中川夫妻	認知症の人の家族の会三重県支部



あんしん声掛け訓練



ささゆりカフェ

生活支援サービス体制整備（生活支援体制整備事業）

種類	内容				実績数
第 1 層 協議体	30 年度の目標を①見守り活動の充実②交流、仲間づくりの拡充として取り組んだ 第 1 回 6/22（金） 支えあい活動啓発冊子の骨子の骨子（案）、その他地域の支えあい活動、 デマンド交通についての意見交換 第 2 回 2/20（水） H30 年度の進捗状況の確認（啓発冊子の作成、福祉委員の調査を実施、 交流仲間づくり等）。H31 年度の活動方針について、H30 年度の目標の継 続と、新規に家事支援の充実を加えることを協議し、承認を得た				開催回数 2 回
	H29 年度に検討してきた高齢者に関する地域課題をもとに、具体的にどう取り組 むかを関係機関及び地域住民の代表者の方々と話し合いをした。 ※地域自治区ケア推進会議に兼ねて開催				開催回数 30 回
第 2 層 協議体	地区名	開催回数	地区名	開催回数	
	大井	2	飯地	2	
	長島	3	岩村	3	
	東野	2	山岡	3	
	三郷	2	明智	2	
	武並	3	串原	2	

	笠置	2	上矢作	2	
	中野方	2			
コーディネーター連絡会	第1層生活支援協議体や第2層の各地域の生活支援協議隊活動の進捗状況や情報交換を行うため、第1層・第2層生活支援コーディネーター連絡会を開催 4/11(水)・7/6(金)・10/9(火)・2/12(火)				開催回数 4回

地域ケア会議の推進

地域ケア会議	○地域ケア個別会議 個別ケースについて多職種が多方面から検討を行い、個別ケースの課題解決を支援。関係者間の連携強化と専門職の質の向上を図る	開催回数 45回
	○地域自治区ケア推進会議（13地域） H29年度の地域自治区ケア推進会議で検討した地域課題について、関係機関と地域の代表者の方々と一緒に具体的な取組について検討した ※開催状況は上記第2層協議体に記載	開催回数 30回
	○市地域ケア推進会議（運営協議会） 上記会議で出された地域課題の情報共有と地域課題を元に政策形成に向けて検討	開催回数 1回

〔4〕任意事業

事業名	事業内容	目標	実績数
成年後見制度利用支援事業	認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者など判断能力が不十分な方々が成年後見制度の申立てにあたり、経済的な理由で申し立てができないことがないようにする ・費用支援人数1件 ・申立人がいない場合の市長申立て2件 ・東濃成年後見センターの相談実績63件、受任件数43件、受任者への直接訪問延回数3,115回 ・市内各地域で毎月巡回相談実施	—	支援件数 3件
介護相談員派遣事業	介護相談員を特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、グループホーム、小規模多機能型居宅介護施設に派遣し、サービス利用者の日常的な疑問、不安の解消を図るためサービス事業者への代弁者として実施 介護相談員19名、 派遣先事業所24カ所（月1回訪問） 4月介護相談員連絡会、 12月介護相談員・派遣先事業所との合同連絡会開催	—	話し相手 延数 3,525人

おしゃべりパートナー派遣事業	独居・日中独居等にて地域社会との関わりが少ない高齢者の話し相手として回想法の手法を使用した訪問事業を実施（安否確認・孤独感の軽減・認知症・虐待等の早期発見） おしゃべりパートナー16人、登録者26人（月2～4回訪問） H30年7月回想法フォローアップ研修 17人参加	—	延べ利用 人数 283人
家族介護者支援事業	高齢者を介護している介護者が、一時的に介護から解放されて心身のリフレッシュを図り、介護者同士の交流を深める目的で開催（3/1（金）かんぽの宿にて）	参加者数 20人	参加者数 18人
介護者教室	地域の高齢者を介護している家族を対象に在宅介護を支援するため、基礎的な介護方法の知識を学ぶ介護者教室等を開催（各地域で1回開催）	参加者数 130人	参加者数 252人
介護用品の購入助成事業	在宅で介護を必要とする高齢者の家族に対して、介護用品購入費用の一部を助成	—	利用者延数 242人
徘徊高齢者家族支援サービス事業	認知症高齢者の見守り体制の1つとして、位置探索端末機の貸し出しを実施	—	利用者数 6人
高齢者見守り活動支援事業	高齢者見守り活動に関する協定事業所及び関係機関・地域住民により安否確認を行ない高齢者が地域で安心して暮らし続けられるよう連携。協定事業所新規2事業所追加。 協定事業所連絡会を3/22開催し、継続した見守り・連携について依頼 （資料：協定事業所一覧）	—	協定事業所 25事業所 通報件数 2件
緊急通報システム整備事業	一人暮らしの高齢者が、自宅で急病や事故など救急の際、救急ボタンを押すことにより、消防署に直接通報できる機器を設置（月一回委託業者から「お元気コール」にて安否確認と状況の聞き取りを実施）	—	実登録者数 188人
認知症サポーター養成講座	認知症に対する地域での理解と早期対応の知識普及のために、地域住民、職域、学校、広域の団体など対象に12回開催、222名養成	受講者数 6,200人	受講者数 5,822人



認知症サポーター養成講座



高齢者見守り活動協定調印式

第7期高齢者福祉計画・介護保険事業計画より

認知症サポーター養成講座	平成30年度	令和元年度	令和2年度
実施目標（人）	6,200	6,700	7,200
実績数値（人）	5,822	—	—

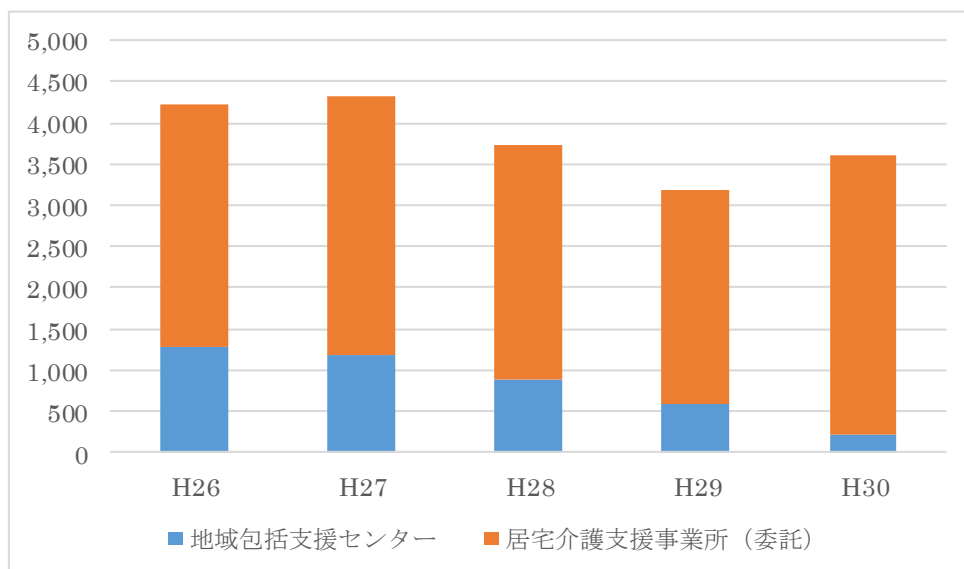
2 指定介護予防支援事業の実施

指定介護予防支援事業所として、要支援１・２と認定された方の予防給付のケアプラン作成を行っています。作成業務の一部を居宅介護支援事業所に委託しています。ケアプラン作成は月平均 300 件、その内地域包括支援センター作成が 18 件、委託が 282 件となっています。

予防給付のケアプラン作成数

	H26	H27	H28	H29	H30
地域包括支援センター	1,281	1,175	896	597	210
居宅介護支援事業所（委託）	2,946	3,153	2,822	2,584	3,388
合 計	4,227	4,328	3,718	3,181	3,598

予防給付年次推移



参考

平成 28 年 3 月より上記の予防給付マネジメントとは区別した総合事業の介護予防ケアマネジメント開始

介護予防ケアマネジメントのケアプラン作成数

	H28	H29	H30
地域包括支援センター	3,380	4,593	3,842
居宅介護支援事業所（委託）	709	1,197	1,393
合 計	4,089	5,790	5,235